

平成25年度第5回鎌倉市環境審議会会議録

- 1 **開催日時** 平成26年3月17日（月）午後1時30分から午後2時30分まで
- 2 **開催場所** 402会議室（本庁舎4F）
- 3 **出席者** 猿田会長、渋谷委員、二松委員、村田委員、高柳委員、郷原委員
川口委員、小田委員、亀山委員
（欠席：木村委員、高野委員、三島委員）
- 4 **事務局** 松永環境部次長、柳沢課長補佐
田中環境政策エネルギー担当担当係長、竹之内主事、中川主事
- 5 **幹事** 石井環境部長、小柳出環境施設課長
- 6 **議題** (1) 鎌倉市エネルギー基本計画の策定について

7 配付資料

当日配布資料

- 資料1 鎌倉市エネルギー基本計画（案）
- 資料2 鎌倉市エネルギー基本計画素案についての意見募集結果まとめ
- 資料3 鎌倉市エネルギー基本計画素案に対する市民等意見及び市の考え方
- 資料4 鎌倉市エネルギー基本計画素案の修正内容等
- 資料5 鎌倉市エネルギー基本計画（案）への修正内容
- 資料6 答申（案）

当日使用資料

- * 鎌倉市環境基本計画＜第2期改訂版一部改訂＞
- * かまくら環境白書（平成25年度版）
- * 鎌倉市地球温暖化対策地域推進計画＜改訂版＞

8 会議内容

出席人数の確認、配布資料の確認等の後、議事に入りました。

議題1 鎌倉市エネルギー基本計画の策定について

猿田会長 それでは議題1に入ります。議題1の「鎌倉市エネルギー基本計画の策定について」事務局から説明をお願いします。

柳沢補佐 議題1「鎌倉市エネルギー基本計画の策定について」説明

猿田会長 だいぶ整理されましたね。パブリックコメントで市民の方からたくさんのご意見を頂戴していますが、読ませて頂いて非常に参考になりました。パブリックコメントでこれだけお褒めの言葉を頂くのは珍しいことで、それだけよくまとめたということです。先ほどの説明の中で、国のエネルギー計画策定に関する記述を削

除とありましたが、今回は市の計画であり、国の計画には左右されずに市として独自にどこまで何をやれるかが基本となっているためです。ご意見はございますか。

小田委員 計画に関して、市として長期的な取組みが必要ですが、短期的な内容もあり、長期的なものとの短期的なもの両方に取組んでいかなければならないのは非常に大変だと思います。

猿田会長 条例の流れで、4月以降に実施計画を定めなければなりません。パブリックコメントの中でもいろいろな意見を頂いていますので、十分参考にして、実施計画の中に反映していきたいと思います。ここまで基本計画をきちんと整理したのは自治体として珍しく、よくやったと思います。

川口委員 細かいことですが、基本計画（案）が最終的な計画になる段階では、図や表には番号を振るのでしょうか。環境白書では図表に番号があります。章ごとに番号を振っておくと分かりやすいと思います。

松永次長 分かりやすい方がよいと思いますので、印刷までには番号を表示できるようにしたいと思います。

猿田会長 表のタイトルは上に、図のタイトルは下という基本も忘れずに、製本までに整理してください。他にご意見はございませんか。

渋谷委員 これからの施策については、いろいろと意見がありますが、計画段階ではこのような方向だろうなと思います。

猿田会長 事務局が作成した内容を我々がチェックしていますが、よく整理されていると思います。

亀山委員 エネルギーとありますが、電力が中心になっています。エネルギーは電力以外にもありますし、市民からのご意見を見ても、電力に限定せずいろいろなエネルギーを対象にすべきだとありますので、欲張れるのであれば、そういったところまで範囲を広げていただければと思います。

2ページ目の下から9行目、C O P 3の名称は「第3回」の入る位置が間違っており、正しくは「気候変動枠組条約第3回締約国会議」です。下から3行目にもC O P 19の名称記載がありますが、名称先頭の「国連」は、この2か所で付けるか付けないか統一が必要です。

松永次長 ありがとうございます、修正いたします。

猿田会長 今の名称で下から9行目にはカギ括弧がついていますが、下から3行目はついていません。一般的にはカギ括弧がついていた方がよいでしょう。法律についてもカギ括弧で記載するのがよいでしょう。

5ページ10行目からの「鎌倉市省エネルギーの推進及び再生可能エネルギー導入の促進に関する条例（以下、「鎌倉市エネルギー条例」という）」の部分は、カギ括弧を閉じる位置を（以下、「鎌倉市エネルギー条例」という）の手前にしなくてよいのか、細かいけれど大事な事なので、一般的な例を調べて確認してください。

柳沢補佐 全編をとおして、事務局で確認して統一します。

猿田会長 印刷は色刷りですか、白黒ですか。

松永次長 白黒印刷です。

猿田会長 グラフなどは、違いが分かるように良く濃度分けする必要があります。

亀山委員が先ほどおっしゃっていた「エネルギーは電気だけではない」ということは、51ページのワールドカフェの結果に出ているようなことですね。

亀山委員 そうです。下手に目標を数字で立ててしまって、その目標を達成するために、本来の目的と違うことをやってしまう事があります。例えば電力使用量を減らそうとして、ガスの消費が増えてしまっては意味がありません。そもそもの目的を忘れないようにしながら、目標を達成していくことが大事です。

松永次長 目標に関しては、エネルギー全般で設定すべきところを、神奈川県とも合わせる形で電力としており、この点について市民の方からもご意見を頂戴しています。74ページの目標の記載の中で、「省エネルギーは電力だけでなく、ガスや燃料油など、他のエネルギー源も含めて取組んでいく必要があります。」と述べています。これを念頭に置きながら、来年度以降、取組んでいきたいと思います。

亀山委員 その記載は、いいなと思いました。

松永次長 議論の中で、目標は定性的なものよりも定量的なものの方が良いということがあり、市域で唯一定量的なデータが取れるのが電力という事で、電気に偏った目標となってしまいました。将来的に他のエネルギーで定量的なデータが取れるようになりましたら、計画の見直しの中で反映していきたいと思います。現時点では定量的なデータは電力しかないということで、ご理解いただければと思います。

猿田会長 このあたりは、実施計画の中でもどう対応していくかが難しいところですね。あとは、鎌倉市の場合難しいのは車の問題ですね。

川口委員 94ページの「移動」のところで、行数は少ないですがロードプライシングなど車の問題について触れていただいています。今後の課題はたくさんありますが、スタンスは良いと思います。

15ページでは、基本計画と実施計画の位置づけについて、それぞれ違うものであり、相互に役割を果たすと明確に書いてあります。図やコラムも効果的に入っており、パブリックコメントにもありましたが、読みやすく分かりやすい計画になっていると思います。巻末に用語集があり、ワールド・カフェの結果では市民が作成したチラシが紹介されているのも目を引きますし、いろいろ考えられていて、良い計画だと思いました。

猿田会長 市民や事業者の皆様にご理解ご協力をいただくにも、分かりやすいというのは非常に大事なことです。

村田委員 ワールド・カフェの部分では、市民の皆さんもおそらく自分たちの意見が取り入れられて、市がそれに対して真摯に取り組んでいるイメージを持たれたのではないかと思います。これから具体的な実践をしていく上でも、市民主体でという意見が多かったとのことなので、市民の意見を聞くシステムをつくり、この部分に意見を取り入れましたという事をフィードバックして、市民と市でキャッチボールをしながら施策を作っていくと、市民が主体という事に近づいていくと思いました。

猿田会長 実施計画では、市民の皆様の協力も非常に大事になってきます。基本計画はできたけれど、実際には効果が上がっていないということでは困ります。事務局もその点を十分理解して対応してください。

二松委員 東京工業大学と共同で実施したスマートシティ形成に向けた研究の中で、鎌倉市のエネルギー事情や具体的にどのような対応を取れば良いかが明らかになっていますが、その研究成果がきちんと計画の中にあらわれています。言葉として将来ビジョンの中に「スマートエネルギー都市・鎌倉」と使われていますし、研究を踏まえた、また市民の意見も取り入れられた良い計画書になっていると思います。具体的にどうしていくかが、次の課題です。

小田委員 研究は、様々な専門家が入ってまとめたものです。その中からいくつかこの計画に含めていただいて、ありがたいです。当然、かかわったスタッフたちは、実現に向けて次のステップで協力できる時が来ればと思っています。

猿田会長 ちょうどエネルギー基本計画策定の前年度に研究があり、タイミングも良かったですね。

小田委員 来年度に実施計画でリーディングプロジェクトを検討していきますが、この計画書の中で、リーディングプロジェクトが何ページにあるのか、もう少し目立たせることはできないでしょうか。次にこれをやるぞ、と前面に出していくイメージです。リーディングプロジェクトが何件くらいあるのか、分かりにくいです。

松永次長 97～98ページの「リーディングプロジェクトに向けて」という欄で整理してあります。これを軸に来年度、実施計画の策定過程の中でリーディングプロジェクトを確定することになりますので、今年度は「リーディングプロジェクトに向けて」という表現に留めています。

猿田会長 事務局としては、今の段階で枠をはめると後に柔軟に対応できなくなるので、今はそのような表現にしておこうということですね。

松永次長 そうです。次年度になって、違うリーディングプロジェクトが浮上してくる可能性もあります。

猿田会長 神奈川県のエネギー計画策定状況はどうですか。

松永次長 2回目のパブリックコメントが終了したところで、4月に計画策定の予定です。

猿田会長 神奈川県は実施計画を策定しますか。

松永次長 県はつくらないと思います。

猿田会長 93ページの低炭素社会実現に向けた基盤整備の部分は、実施計画に当たっては、分野をもっと細かく分けなければなりません。断熱性を高める具体策について他の自治体でも検討をしているようですが、実践するとなると経費の問題もあり、大変なことです。

他にご意見が無いようですので、今ご指摘頂いた内容は製本するまでに訂正することで事務局に任せるとして、事務局が作成した鎌倉市エネルギー基本計画（案）については、審議会としてチェックしたということで、ご了承いただきたいと思い

ます。

次に答申（案）について、事務局から説明をお願いします。

松永次長 資料6をご覧ください。答申（案）については3月4日の部会で検討していただき、その後皆様からのご意見を伺ったものとなります。鎌倉市エネルギー基本計画（案）の方向性については審議会としてお認め頂いたうえで、来年度リーディングプロジェクトを展開していく上で、本当に実効性のあるものにするための留意点が主なご意見でしたので、そのようにまとめてあります。

それでは、答申（案）を読み上げさせていただきます。

（答申読み上げ）

以上が答申（案）となります、説明を終わります。

猿田会長 何かご意見ございますか。

各委員 （意見無し）

猿田会長 ご意見が無ければ、この内容で本日答申を行いたいと思いますので、ご了解いただきたいと存じます。次に、その他として事務局から何かありますか。

柳沢補佐 平成25年度版のかまくら環境白書につきましては、前回審議会にて概要をご説明し、その後温室効果ガス関連の部分について郵送にてご確認頂きました。委員の皆様方にはご協力を頂き、ありがとうございました。確定したものを、先週送付させて頂いております。

猿田会長 これで本日の議事は終了ですが、他に何かありますか。

石井部長 環境部長の石井でございます。今年度は、鎌倉市エネルギー基本計画の策定について諮問をさせていただきましたが、ご審議を頂いて、鎌倉市エネルギー基本計画（案）をご了承いただき、本日、答申を頂く運びとなりました。皆様にはご尽力をいただき、誠にありがとうございました。

この2年間で振り返ってみると、東日本大震災を踏まえてエネルギーに対する考え方が大きく変わっている中、昨年度は環境基本計画を一部改定して、放射能の項目を加えたという事がありました。また、今年度はエネルギー基本計画の策定があり、来年はさらにこの計画を進めていくために、実効性のあるエネルギー実施計画を策定することになります。

エネルギー関連施策はまだ緒に就いたばかりということで、様々に検討していかなければならないと考えております。今後ともよろしくお願ひしたいということで、ご挨拶に代えさせて頂きたいと思ひます。

猿田会長 今後の予定はどうなりますか。

松永次長 現委員の任期は5月27日までとなっております。今後の予定につきましては、理事者等と調整して必要な手続きを行いご連絡する予定ですが、審議会は現任期においては今日が最後の開催になると考えております。この2年間、任期を継続した委員の方には4年間、本当にありがとうございました。来年度は具体的な検討が始まり非常に重要になってきますので、またご指導いただければと思ひます、ありがとうございました。

猿田会長 2年間、ご協力ありがとうございました、今後ともよろしくお願ひいたします。では、本日の審議会はこれで終了させていただきます、ご苦勞様でした。